

2.7.4  
967

古川甲子

日毛争論之仕ノ状況

一海軍官ノ状況

海軍官ノ名一改稱ノ由日毎ニ減少シタルノ故ニ識者即チ之ヲ定案  
置キ其ニ他ノ事情事情ニモシカハ約ニテ依ルテ活動上時中  
海軍官即チ出立シ居ルノ甚勢ニシテ誠首聯ニシテ法米抗軍ノ進  
退シテソコニ出テズ

加之最近ノ如ク移初向ノ勢力ノ半ニ移初有未懐カレ者、  
旧幹部中野常夫中村高見等軍心若ク空權ノ掌握シテ寸断  
的ノ活動ヲトシ之ヲ排斥セシメシ述レ内江ノ若長ニシテノ為ニ世ノ  
お索ニ飛表ノ生シ若ク少移初ノ業法ヲ飛テ帰有スニ法統  
相離チテ終極的ニ之ノ境敗ノ外ナキナリ

如シトシ法統トシテ約分カレテ海軍官ニ對シテ口ハカシテ助成ス

附録